

令和5年度第2回魚沼市男女共同参画推進委員会 会議録

日時	令和5年9月1日(金) 14時00分～15時20分
場所	本庁舎3階 304会議室
出席者	【委員】 星敏夫会長、山内由美副会長、堀川祐里委員 星靖子委員、鎌田委員、横山セツ子委員、奥田千佳子委員 【事務局】 企画政策課 五十嵐課長、馬場係長、内田主任

(会議の要旨)

1 開会 (14:00)

2 報告

- ・魚沼市男女共同参画推進計画における令和4年度実施事業について
(事務局)

配布資料「**資料1** 第4次魚沼市男女共同参画推進計画 令和4年度実施事業について(まとめ)」及び「**資料2** 第4次魚沼市男女共同参画推進計画 令和4年度事務事業シート」について説明。

(会長)

基本目標が3つ掲げられているので、順番に聞いていきたい。基本目標1について何か質問や意見があるか。

(委員)

地域セミナーについてももう少し詳しく聞きたい。開催時期はいつ頃だったのか。

(事務局)

昨年は6月に行った。地域セミナーは、広く市民に対して男女共同参画にかかるとを周知する目的で、毎年(公財)新潟県女性財団と共催で行っており、時期はばらばらである。

(委員)

開催場所はどこだったのか。

(事務局)

市内である。

(委員)

事前のお知らせがあったと思うが、市報か何かだったか。

(事務局)

市報やホームページなどである。

(委員)

会場はどこだったのか。

(事務局)

堀之内公民館だった。

(委員)

地域セミナーに申し込みたいときはホームページから申し込むような感じだったのか。

(事務局)

ホームページのほか、電話やチラシのQRからの申し込みである。

(委員)

各地域の代表が集まったとかではなく、希望者のみだったのか。

(事務局)

市報に掲載するほか、この時は集落支援員にお願いして、地域に出向くときにチラシの配布を行った。

(委員)

何人くらい集まったのか。

(事務局)

21人である。

(委員)

想像よりずっと少なくてびっくりした。

(事務局)

今年は魚沼市PTA連絡協議会と一緒に地域セミナーを行ったので、参加者が多かったのと、テーマがコミュニケーションだったので、一般の人でも来てもらえたが、防災という話だととっつきにくいのか、あまり集まりがよくなかった。

(会長)

基本目標2についてどうか。

(意見なし)

続いて、基本目標3はどうか。

(委員)

ファミリー・サポート・センターはどのようなことをしているのか。

(事務局)

一時的に子どもを見てもらいたい時に、提供会員に子どもを預けることができるサービスをしている。

(委員)

資料2に骨粗しょう症検診というのがあるが、簡易的なものなのか。

(事務局)

事業の詳しい話は、後でお知らせする。

(委員)

ファミリー・サポート・センターの話だが、提供会員になるのに研修がいるのか後でいいので知りたい。

(事務局)

確認して後でお知らせする。

(委員)

指標のファミリー・サポート・センター会員数は依頼会員数、提供会員数どちらなのか。それとも両方なのか。

出生数が減っているのに、依頼会員数が増えているのは、例えば、保育園に入れない等の事情があるのか。

(事務局)

いろいろなニーズがあるのだと思う。担当課では、市の利用料に上限額を設定したことが利用者数の増加につながったのではないかと判断している。

(会長)

ファミリー・サポート・センターについてわかるような資料があれば後で送付してもらいたい。

他に何かないか。

(委員)

年によって前後すると思うが、地域セミナーは何人くらい来ることを想定して開催しているのか。

(事務局)

(公財)新潟県女性財団と市で行う場合は、30人くらいを目標に開催することが多い。今年のように(公財)新潟県女性財団と市だけではなく、他の団体も一緒にやる時には、その団体の規模も考えて定員を決めている。

(委員)

100人くらい集めるのかと思っていた。

(事務局)

市民を対象として行くと、なかなか集まらないという現状がある。

(委員)

中越地震で避難所生活をしたときに、すごく不自由をした。小さい子供や女性に対して「うるさい」とか「黙ってろ」とかいう男性もいた。いつ災害があるか分からないので、各地域の代表くらいは集まって、そういうのは危機感をもってやってほしいと思う。

(委員)

大勢集まっても予算的にそんなに変わらないだろうから、もっと大勢集めるの

がいいと思う。

(事務局)

市報やホームページを中心に募集をしているが、ダイレクトに案内を送付するとか他の方法を検討したい。

(会長)

防災安全課との連携はあるのか。

(事務局)

昨年の地域セミナーでは、防災士への案内を依頼した。その他、昨年は、防災安全課と地域創生課でも防災に関するセミナーを行っている。

(会長)

自治会長などに昨年の地域セミナーの結果を伝えたのか。

(事務局)

毎年防災についてやるわけではないので、その時に関係する団体の方に案内できるように考えていきたい。

(委員)

いろいろなセミナーや講習会の案内をいただくが、チラシをもらっただけでは、よっぽど興味がない限りは自分の時間を使って行こうとはならない。そこへ一声あると行こうと思うけど、チラシをまいただけでは100人集まらない。市役所から広報を出してそれだけで集めるのはすごく難しいと思う。

(会長)

上がった声があるのであれば、それを情報として流すことはできると思う。それを受けてどうするのかは区やコミュニティ協議会の判断ではあるが、言われたとおり難しいかもしれないが、その地区にとって大事なことだったりするので、主催者側でうまく伝えられればいいと思う。

(委員)

来年が中越地震から20年で、節目の年なので何か大きいセミナーを開催してもいいと思う。

・地域セミナーについて

(事務局)

委員が参加してみたいと思ったり、市民が参加してくれるのではと思う男女共同参画に関するテーマがあればご意見いただきたい。

(会長)

それは今日でなくてもいいのか。

(事務局)

今日でなくてもいい。

(会長)

今日でなくてもいいということなので、男女共同参画が基盤にあってその先にこんなセミナーがいいのではというのがあれば、来年度の参考にしてもらうのに今月中くらいに市のほうへ意見を言うということでしょうか。

(事務局)

後で地域セミナーだけでなく、自由意見についての案内を出させていただきます。

(委員)

参加者を増やすのは難しいことだと思う。時期的に災害に関する機運が高まっていると思うので、昨年実施しているテーマではあるが、それをブラッシュアップする形で来年やるのもいいのではないかと思う。経済学でいうところのインセンティブ、やりたいと思う動機づけとものをどう作るかというのがすごく難しく、安直に何か配るとかだとお金がかかってしまうし、あまり意味がない。何かやりたいと思う動機づけとして、例えばセミナーで話を聞くだけじゃなく、実体験をした方がこれを用意してほしいとか、意見を言えるとか、今後の数年間でこういう設備ができるとか、他に、生理用ナプキンの用意がどうなるか、それを配る体制はどうなるのかなど、些細なことかもしれないが、そういうアイデアが出せる、仕組みが作れるなど、自分たちの今後にメリットがあると思える仕掛けがあると参加する意欲につながると思う。男女共同参画は大きな概念でもあるので、一回話を聞いたただで何か変わるものでもないが、少しでも実利があると、こういうことができるようになるならと気持ちが変わるとか、偏見が変わるとかにつながると思う。自分が少し影響を与えられるようなセミナーだと、それなら行ってみたいと思う人がいるかもしれないと思う。

(委員)

その地区全部が避難だったので、体育館で共同生活を1か月程したが、本当に大変だった。当時は授乳室もないし、子どもが夜泣きをすると、みんながイライラしてもめたりした。これだけ災害が頻繁に起こっているのに、他人事ではない。だからこそ、せめて区長だけでも毎年集めてこうなった時はどうするという話をしていかないと思う。

(会長)

いつ災害が起こるか分からないので、被災経験者の話を聞くのはいいと思う。では、「3 その他」に進める。

3 その他

4 閉会 (終了 15:20)